

### 「やる仕事がない」ほど辛いことはない

宇久田進治

あの3・11の衝撃的な惨事から2年が過ぎました。事態はこれからがまた山をむかえます。いやこれから幾たびか超えねばならない課題があります。

仕事がない、今までの仕事に復帰できない、工場は出来たが得意先が消えた、お客さんだった人達がみんな避難して人がいなくなってしまった…。仕事がない、この先の見通しがたたない、これほど辛いこと、多少の支援金で何とか…という話ではないという。逆をいえば今やる仕事があるということは私達どんなにか恵まれていることでしょう。

さて、この大きな負荷は東北だけで解決はとても出来ないことであろう。日本全体で負担せねばなるまい、その意味で少なくとも東北産の農産物、鮮魚類、各種加工製品などをもっと買おう、東北に旅しよう、停滞している東北の行政を手助けしよう…

そういえば沢山寄せられた義捐金は今どんな使われ方をしているのだろう。

莫大な金額であったであろう義捐金は明朗会計が基本中の基本だ。

これから何十年とかかるであろう、またこれからが正念場のこの自然災害。

悲しみを超えて支援の手をさらにひろげましょう。



### これからは『農業』の時代

農業が見直されている。施策は大規模経営思考であるが どうであろう小規模経営では？ 大規模経営と住み分けしたらどうであろう。自分のことは自分で…が基本で、自給自足の少し大型化とでも言おうか。販路は地域の「道の駅」的存在で持ち寄り所帯だ。品物の新鮮さはこの上ない、働き手の丈夫な高齢者は社会参画のひとつでもある。生産者は競って良いモノとサービスを提供する。健康を増進するという副産物もあるだろう。めずらしい果物も作れないか？採算は？…量産でないのでコスト高になってしまう、だが楽しみが増える、収支がトントンなら良いではないか。要は大きくしないことかも知れない。

## 株式会社タフ・ジャパンの鎌田修広先生に研修に来ていただきました。



株タフ・ジャパン  
代表取締役鎌田修広氏

自社のHPでは、鎌田先生のプロフィールがあり、なんと足の大きさは30cmなのだそうです。

先日所内研修に元消防学校教官の鎌田先生に講師頂きました。心理カウンセラー『心を聴くプロ』である鎌田先生に人間の『手』の役割についてお話いただいたのですが、**心感と体感**の両方を兼ね備えた研修でとても印象に残る研修内容でした。(株)タフ・ジャパン鎌田先生ならではの講義、ぜひ皆さん聴いてください。企業研修でも是非！ >>>詳しくは株タフ・ジャパンHPへ



# TOUGH-JAPAN

0466-33-8241